

コラム 寒地土木研究所「開発技術説明会」の開催

寒地土木研究所では、積雪寒冷地において研究開発された新技術について、公共工事等の現場での活用を推進するため、関係機関に積極的に働きかけ、技術者にとって関心の高いテーマの講演を、積雪寒冷地において開催しています。

平成26年9月25日(木)に関東地方整備局で6技術(写真-1)、10月7日(火)に北陸地方整備局富山河川国道事務所で6技術、12月12日(金)に東北地方整備局で8技術、平成27年3月4日(水)に中国地方整備局三次河川国道事務所で3技術と雪崩に関する技術(写真-2)を説明しました。

降雪および凍結融解による土木構造物への劣化影響を緩和する技術、長寿命化に関する技術のほか、品質管理、防災・減災に関わる技術についても紹介しています。

今後も、積雪寒冷地において開発された技術を普及するため、各地方整備局等で要望される技術を幅広く、また、技術者にとって関心の高い技術を紹介できるよう開催していきたいと考えています。



写真-1 関東地方整備局での説明会



写真-2 中国地方整備局三次河川国道事務所で
の現地説明会